

ふるさとへぐり再発見

剣上塚古墳

11



初香台住宅地の一番奥の丘陵上にある円墳で、南西より延びる尾根の先端付近に立地しており、直径28m、高さは3.6mほどあります。

古墳の名前は大字若井字ケン上に所在するので付けられています。円墳としては町内でも大きいほうの古墳で、昭和63年6月15日に町指定文化財になっています。

墳丘の東側は宅地開発で裾ぎりぎりまで削られ、今は石垣が積まれています。西側の保存状態は良く、尾根を掘込んで古墳を区画した堀割が残っています。

古い資料によると、200年ほど昔に発掘され、甲冑や戦具が出土したようです。

また、墳頂より板石1枚が掘り出されたとの伝承もありますが、他に石材が出たという話は知られておらず、状況より見て主体部は墳丘に直接木棺を埋めた木棺直葬の可能性が考えられます。主体部がはっきりせず、築かれた時期を判断する材料は少ないのですが、古墳の立地や出土した円筒埴輪よりみて6世紀前半頃とみられます。

なお、この[剣上塚古墳](#)は年2回平群史蹟を守る会の方々により草刈りが実施されています。

